

広報

まっだい

1983

10月

■発行 新潟県松代町総務課 電話 松代7-2220番 昭和58年10月20日

第287号

雨の中盛大に

おこなわれた町民マラソン大会



《人口の動き》 男3,205(+4) 女3,257(-7) 計6,462(-3) 世帯数1,753(-4)

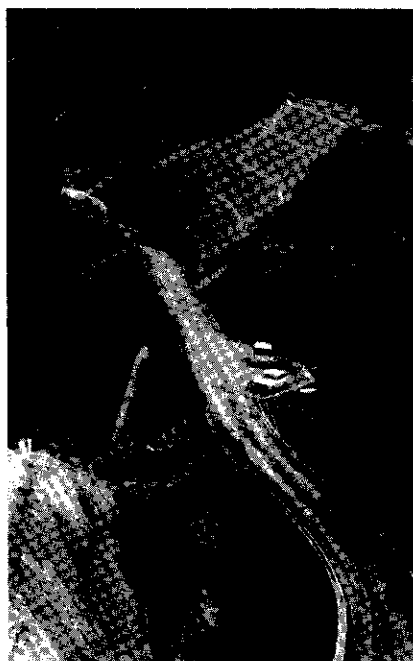
10月1日現在 出生7 死亡4 転入7 転出13

＝田沢・下山部落、林道で結ばる＝ 林道田沢・下山線 開通

平内橋
橋長60m、幅員4m



切法長 34.5m
田沢側より



難工事の一つ切土 33,800m³
下山側より

昭和五十一年度より着工された林道田沢・下山線開設工事は、この度、難関の前年度繰越分完工が完了し、田沢、下山間二、七九一m、全区間の開設工事が完了いたしました。

総事業費約三億三千万円（国県補助金二億六千四百万）と八年の歳月をかけた本林道は越道川支流横根川が蛇行して形成された急峻溪谷地を切り開いて開設されたもので、長さ六〇mもの平内橋や、三〇mもの切盛工法など数々の難工事をして開設されたものです。また、本路線は国道二五三号線田沢、松代間並びに町道松代、海老、東山線の迂回路的用途も持つ、南部地域の部落の基幹生活道路でもあります。林業振興はもとより地域開発にも期待がもたれており、一部アスファルト舗装工事から着工されています。

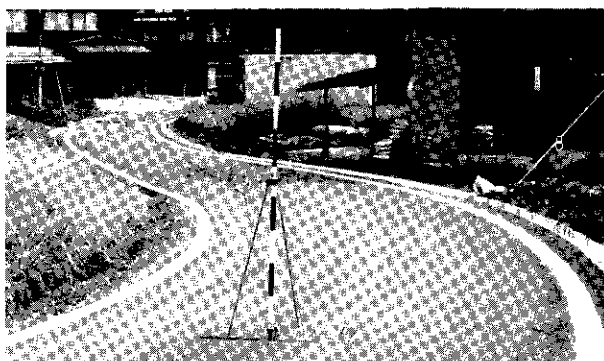
農村地域定住促進対策事業 田沢居村線、改良舗装工事完了



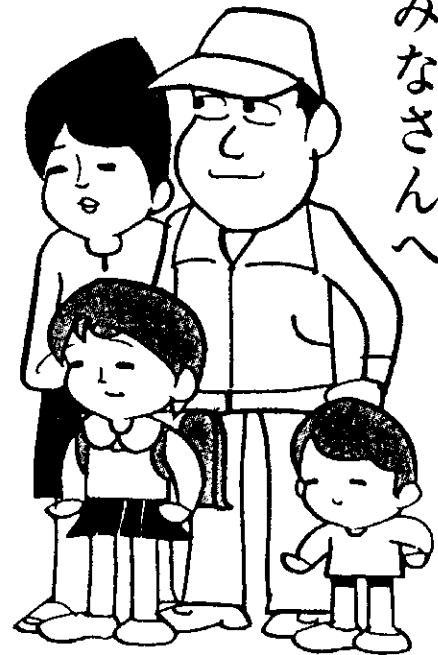
林道 田沢・下山線より田沢部落をのぞむ

事業実施三カ年目をむかえた農村地域定住促進対策事業の一環として実施された田沢居村線改良舗装工事が完了しました。この居村線は国道二五三号線を起終点とし延長六〇一mで田沢部落内を循環する道路であり、昭和五七、五八年二カ年継続工事で事業費約三千三百万円（国県補助金約二千三百万円）で完成したものです。

舗装工事が完了した部落内



出稼される みなさんへ



保健衛生シリーズ

94

秋の収穫も終わり出稼の時期が近づいてきました。

出稼される方の高令化等による、出稼中の事故、病気が心配されます。健康で、事故のない冬期間を過ごすため次の事に注意して下さい。

○出稼前に健康状態 を確かめましょう。

半年間、違う環境、仕事により、体の調子が変わります。特に一般健康診査で受診の必要があると言われた方は、必ず受診しましょう。また、送薬をする方は、医療機関、家族と連絡をとり、薬が途中でなくなる事のないようにしましょう。

○食生活、 嗜好について

嗜好について

去年の出稼者アンケートより

酒について

家にいる時より、出稼先の方が、酒の量がふえていました。

休みの日は、特に酒の量が増えるようです。一日の量を決め、一週間に一日酒をのまない日にしましょう。酒の肴も忘れずに。

野菜について

野菜のとり方は、一日片手山もり三杯が普通とされています。家でも十分食べている人が、七



八・三%と、また不足の方がいるわけですが、出稼先では、十分食べている人が、三八・九%と半分以下に減ってしまっています。これでは体の調子もくるってしまいます。保存のきく野菜を家からもつていくとか、買って食べるとか、工夫が大切です。

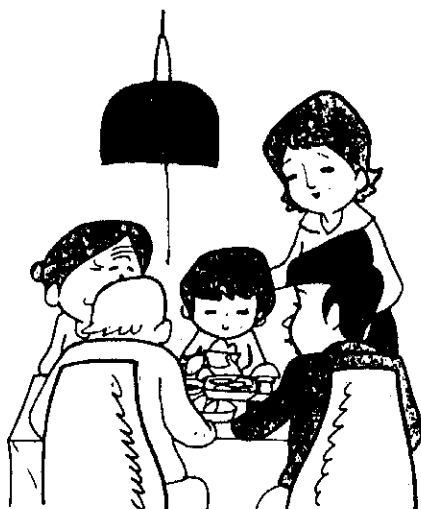
仕事について

出稼中は労働時間が決まっています、家にいるより楽だという人がいますが、五時間以上の残業をしている人、休けい時間も十分とれない人、休日もとれない人等、多くはありませんが、おりますので慣れない仕事で、ストレスも多いかと思えます。無理をしないように働いていただきたいと思えます。

57 年 出 稼 者 アン ケ ー ト 結 果

		20 代	30 代	40 代	50 代	60 代	70 代	計
人 数	家	43人	74人	172人	294人	59人	3人	645人
	出							
酒	家	1.53合	1.5合	1.74合	1.64合	1.6合	0.67合	
	出	1.7合	1.61合	1.87合	1.74合	1.49合	0.67合	
み そ 汁	家	2.29杯	2.63杯	3.08杯	2.94杯	2.82杯	0.33杯	
	出	2.44杯	2.20杯	2.36杯	2.22杯	2.07杯	2.33杯	
つ け 物 飯べない人	家	23%	7.6%	22.5%	17.9%	19.2%		
	出	27%	34.2%	33.5%	26.2%	28.2%		
や さ い 片手山もり 3杯とれた人	家	31人	53人	143人	227人	49人	2人	505人 (78.3%)
	出	26人	34人	84人	66人	39人	2人	251人 (38.9%)
蛋 白 5 単 位 とれた人	家	15人	26人	48人	88人	47人	2人	226人 (35%)
	出	20人	36人	90人	159人	29人	3人	337人 (52.2%)

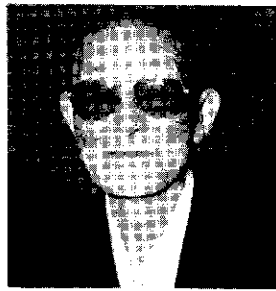
家 - 家にいる時 出 - 出稼中



敬老と健康



犬伏小島音次郎（屋号ちゅういん）さんは、明治二十六年生れの今年九十才で、敬老の日知事から祝詞と記念品が贈られました。



元気の良い
犬伏・小島音次郎さん

小島さんは毎朝新聞配達を続けている「朝刊太郎」と呼ばれているだけあって、若々しい顔のつやと真直ぐシャンのびた足腰、その秘訣をきけば「ソリヤ、きまりのいい生活をするこゝとだて、適当に体を動かすこと、食事はきちんと三度適量に、きまつた時間に就寝すること、もちろん深酒や煙草が禁止され

ていることは言うまでもない。敬老の日にふさわしいさわやかな小島さんの笑顔は家族の方々にあたたかく見守られていくことでしよう。

この他、今年九十才に到達された長寿老人は次のとおりです。
若月作蔵（海老屋号きへい）
山岸正平（片桐山あらやしき）
若山イシ（室野ますや）
植木タマ（松代おけや）
樋口巳子吉（松代かねばら）
以上六人の長寿老人に知事の祝詞と記念品を伝達いたしました。

《今年度のダイヤモンド夫婦》

関谷勇吉（松代 ばんじろう）
関谷シユ（大正十二年三月）
関谷廣次（菅刈 あたしや）
関谷カウ（大正十二年四月）
佐藤吉一（竹所 みやのわき）
佐藤マセ（大正十二年四月）
結婚六十年、喜びも悲しみもともに手を携へ社会に貢献した健康老人に敬意を表し、今後ますますのご健康を祈り拍手を送りたい。

おめでとう金婚夫婦

小堺嘉一・小堺キヌ ご夫婦
松代 まんのすけ

高野福次郎・高野トシご夫婦
松代 とのぐら
市川清作・市川スズ ご夫婦
太平 にし

富澤五作・富澤ムラ ご夫婦
太平 えどばた

相澤盛俊・相澤イセ ご夫婦
太平 はじ

山賀武司・山賀ハル ご夫婦
池之畑 こうぞう

柳 榮策 柳リヤウ ご夫婦
千年 こぜん

志賀寅治・志賀ヒデ ご夫婦
千年 あぶらや

若井政市・若井キイ ご夫婦
蓬平 かじ

山岸多一郎・山岸ヨキご夫婦
室野 むろたや

菅井和雄・菅井カホルご夫婦
名平 かみや

中村松蔵・中村フミ ご夫婦
田代 まつや

関谷太平・関谷トラ ご夫婦
菅刈 どうのわき

石田兼吉・石田カネ ご夫婦
芋島 ふるやしき

山岸忠蔵・山岸ムメノご夫婦
木和田原 だと

以上十五組のご夫婦に知事の色紙を御祝いに贈りご健康と一層のご活躍を期待いたします。

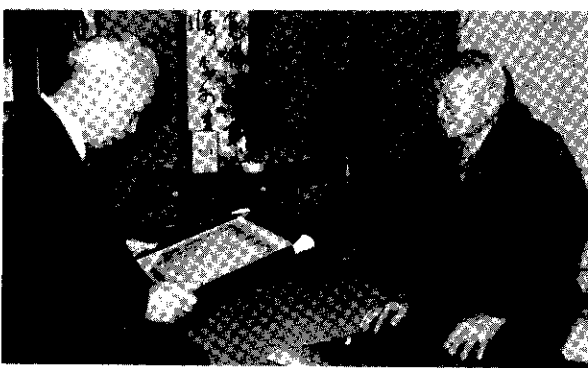
次に老人医療費の増高が大きな社会問題となっておりますが、松代町では昨年一年間老人医療

費の支給を受けなかった健康老人で、千年の屋号西桶屋柳仙太郎84才、ツギ78才のご夫婦をはじめ、五十四名の方々に褒状と記念品を送りました。

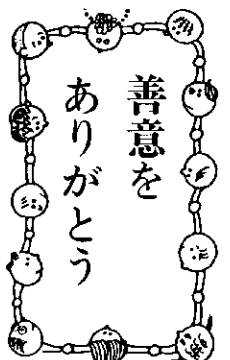
八十五才以上の長寿老人は、千年の山本屋島田ナヲさん95才以下七十五名と、75才以上四六七名の方々には記念品を贈りました。



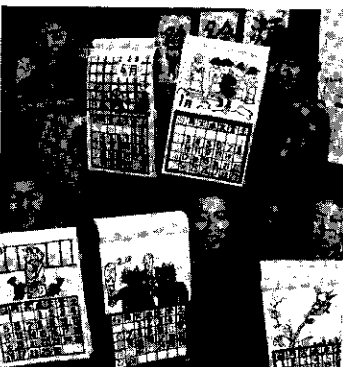
鈴木助役より、知事の祝詞と記念品を伝達される樋口巳之吉さん。



善意を
ありがとう



松代町の南海老分校の「むくどり子供会」のみなさんが、昨年の長崎水害に続いて今年もまた山蔭地方の水害被災者に見舞金をお寄せ下さいました。子供会のみなさんはお祭りのお小遣いを集めてくれたものですが日赤新潟県支部では早速被災地の対策本部にお届けいたしました。金額の多寡ではなく困っている人たちにあなたがい思いやり心がうれしい、本当にありがたい手づくりのカレンダーを各戸に配布され感謝されておりますが、ご指導下さる先生方には大変ですが、浜海荘を訪れる占老たちを今年もまた楽しませて下さい。



太平に集落開発センター完成



このたび太平に県単事業により集落開発センターが建設されました。建物は木造二階建延面積一五九㎡(四八坪)で、大会議室、調理実習室、農産物集出荷室などが設置されています。太平部落では子供会活動を中心とした太平友の会組織が、地域の文化、教養、厚生活動を活発に実施しておりますが、今まで作業所の二階を利用した狭い

部屋しかなく不自由をしておりました。今後はこの集落開発センターの完成と、一昨年農定事業で設置した太平農村広場との一体利用により、友の会活動はもちろんのこと、農林業の振興や生活改善を図るための研修など、部落のコミュニティーセンターとして大いに利用されることが期待されます。

今年の産米の初出荷が、九月二十四日の検査より始まりました。初検査には、トドロキワセ、新潟早生、五百万石、ホウネンワセなどの早生品種が主で、一〇一五袋が出荷されました。検査結果は五百万石の三等までを含めた上位等級比率は、九二・八%と好成績でありました。今年の稲作は、全国的に平年並みとの見込みであります。新潟県では早生品種の上位等級比率が七〇%程度と、品質が低下していることが特徴です。当町ではこれから十月末まで、検査の計画がありますが、十月三日現在では、一三、三一二袋の出荷で、上位等級も九二・二%となっています。九月下旬の雨のため集荷計画に対し七五%



と遅れていますが、今後天候も良くなりましたので順調に出荷が続くものと思われます。町全体では、限度数量も予約以上に保留がありますので、農家の皆さんには、「ヤミ米」は一袋たりとも売らず、農協への正規ルートによる全量出荷をされるよう、特にお願いいたします。



松代町の
農業を考える
「私の意見」
シリーズについて

産業シリーズの中で計画しております。松代町の農業を考える「私の意見」シリーズには、すでに四名の方の貴重な意見を発表していただきました。

今月号は農繁期のため、休ませていただきます。

産業課では、すでに発表された方々の意見に対する感想や、ご意見、また、私も是非意見を述べたいと思われる方の原稿をお待ちしております。

だいじょうぶかな
きみの自転車

秋の夕暮れは早く、午後五時には、もう真つ暗です。自転車のライトは、ちゃんとつきまスカ。ブレーキは……?

長い間には、自転車も、あちこちのネジがゆるんだりします。自分だけでなく、他の人にもめいわくをかけないよう、ときどき点検してもらいましょう。

青少年育成町民会議から

家庭生活にかかわる

アンケートの結果に思う

松代小学校長 高橋 渡

郡の校長会では、毎年教育に関する調査を行って、十一月にはパンフレットにまとめ、秋季校長研修会のテキストにしています。本年度は、教育実情(教師・児童・生徒)が対象で、夏休み前にアンケートが実施されました。その集計は、郡校長会調査委員会が担当しますが、その前に、松代小学校の集計を手もとで行いましたので、家庭生活にかかわるいくつかを紹介し、松代の児童理解の便に供したいと思っています。(調査対象は分校を含む五、六年生全員七二名、無記名)

一、あなたのお母さんは家庭に
おられますか。それとも家庭外に
就業していますか。

家庭にいる(自作農・内職を
含む) 四七%

家庭外就業 五三%

お母さんの家庭外就業が五〇
%を越えました。共働きは、見

方によれば婦人の解放であり、
長い目で見た場合家庭生活の向
上にもつながりますが、親の方
では、いろいろ気をつけたつも
りでいても、いつしか子どもと
の対話が不足する危険がありま
す。子どもの発達段階に応じ、
お母さんが外で働く理由を納得
させ、食事後の後片付けなどの
機会を利用し、手伝わせないが
さりげなく一日のできごとなど
聞いてやり、話しあうことも、
対話不足の一つの解消方法かと
思います。

二、あなたのお母さんが留守の
ときは、家族の食事ぐらい自分
で作れますか。

作れる 七〇%

作れない 三〇%

インスタント食品の普及や、
小学校では「家庭」も男女共学
なので、男女差もなく、思った
より高率の自信が目を引きま

三、あなたは家族の一員として、
家の中で決まった仕事がありま
すか。

ある 三六%

ときどきある 五一%

ない 一三%

決まった仕事があるときある
というのも、わかりにくい設定
ですが、それはともかく、八七

%が何らかの形で家事の一部を
分担していることは、想像を上
回るものでうれしいことであり
ます。特に自信をもってあると
答えた三六%の児童は、責任をも
って分担し、家族に喜ばれ、
無意識のうちに、働く喜びと、
家族の一員としての自覚が育っ
ているものと考えられます。

四、あなたは今までに父親に叱
られたことがありますか。また
叱られたことのある人は、叱ら
れたことが今よかつたと考えて
いますか。

叱られたことがある 九〇%

叱られたことがない 一〇%

役に立ったと思う 九二%

役立ったと思わない 八%

五、家の中で両親と話すことが
ありますか。

よくある 五七%

時々ある 四三%

ない 〇%

No.四、五を見る限り、松代の
家庭の教育力は決して低くあり
ません。むしろ高い水準にある
といっても過言ではないと思い
ます。親子関係には、「愛情関
係」の外に「指導関係」という柱
があります。この二つの柱が適
切にかみ合っていれば、好まし

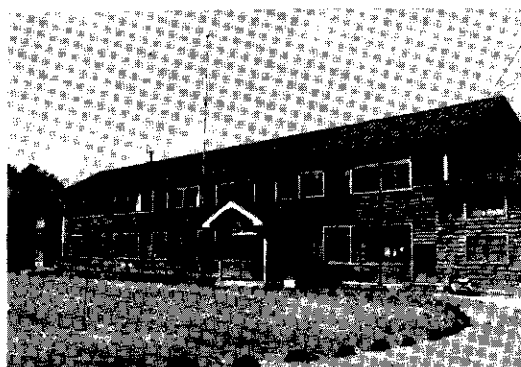
い性格形成ができます。

家庭教育を進めるうえで大切
なことは、時と場を適切にとら
えること、つまり発達段階を考
えて子どもの心をユサブルこと
であろうかと思えます

百年祭のこと

清水小三・四年

美 友 島 小 幸 弘 羽 万
美 広 嵐 十 子 幸 崎 寺
子 信 子 野 島 小



八月十六日、わたしたちの学
校で百年祭があつて、二百人ぐ
らいのお客様が来られました。
一、新しくきた物

校旗やコピーの機械やステー
ジまがきて、とてもうれしい
です。特にまがきピカピカして
いてあつたかいので、大切にし
たいです。来年入学の一年生も
よろこぶでしょう。学校のため
にお金を出してくれた人たちに
とても感じやしています。

二、お客様

むかしの先生や、わたしたち
を教えてくれた先生、役員の方
が来てくださり、大ぜいなので
びっくりしました。お年よりも
いました。このおじいさんたち
が学校の生徒だったのですから、
学校もめでたく百才になったこ
とがわかるでしょう。先生方と
もう一度会いたいと思います。
部落の人いろいろなと学校のこ
とを聞いていましたし、長くつ

6 ページより

とめていらつしやった人にはなつかしいことでしょう。

三、音楽発表

合そうは三曲。一生けんめいやつてまちがえませんでした。合そう中はすごくきんちようしました。特に一、二年生がそうでした。終った時、「ふうー。やつと終った。」と思いました。先生方もいっしょにひいてくれたのでだいじようぶでした。ステージの上から見ると、すわった時よりお客様がたくさんに見えました。

四、百年前の学校って

どんなかな

ピカピカで教室がいっぱいあったでしょう。子どもも百八十人ぐらいいて、遊ぶ人がいっぱいいていいなあ。給食はどんなかな。どこで食べたのかな。どんなかつこうで登校したのかな。むかし学校が火事になったと聞いたけど、死んだ人はいなかったのかなあと心配です。

五、これからの学校

町長さんが言われたように、鉄きんコンクリートにしてほしいです。火事にならないようにあちこちに消火器があつたらいいな。物を大切に、これから入学する子によるこんでほしいから。

はの百科

小野島歯科医

シリーズ ⑥

虫歯と並んで歯科の2大疾患の
歯槽膿漏について

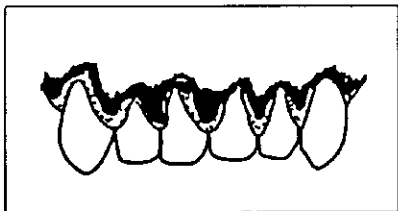
虫歯は歯の病気ですが、歯槽膿漏は歯を支えている骨や歯肉の病気です。

歯槽膿漏は、日常、何ら症状はみられず疲労が重なったり、風邪をひいたりすると、痛みや腫れるなどの症状を示し、予防措置を構じなければ、少しずつ進行していきます。又、この病気になるのが一度に何本もあり、ダメになって抜けるのも何本も同時に抜けたり、口臭の原因になったりするなど、やっかいな病気です。

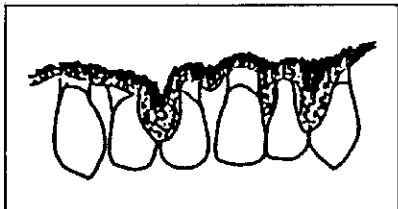
歯槽膿漏というと、老化現象の一つとして昔は考えられていましたが、二十才を過ぎれば程度の差こそあれ、誰もがかかっている病気です。

この病気の最大の原因は、歯垢や歯石と呼ばれる歯についた汚れです。この歯垢の所で口の中の細菌が繁殖して種々の毒素を出しながら歯肉の奥深く侵入して歯の周囲の骨を溶し、そのために歯を支えるものが少なくなって、歯がグラグラしたり歯肉がやせて歯と歯の間にすき間が

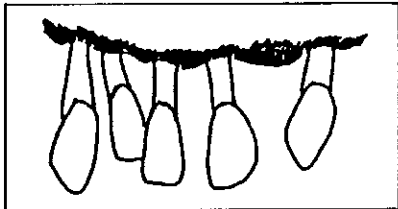
(はじめに)



(ひどくなると)



(最後には)

総合体育館
道場開き開催

十月三十一日の完工を目指して建設中の総合体育館柔剣道場の道場開きを左記のとおり開催いたします。

近郷有力選手達の紅白試合や、真剣を使つての型の演武など日頃見られない催し物を予定していますので、一般の方々も多数ご観覧下さい。

一、日時 十一月六日 午前十時より

二、会場 松代町立 総合体育館武道場

三、内容

○午前の部
少年剣道紅白試合

○午後の部
日本剣道型
居合道演武
紅白試合

あいたりする結果となります。一方、歯と歯の咬み合せも原因になります。本来人間の歯は垂直的な力には強くできていますが、横からの力には弱くその力に耐えられなくなると、歯を支えている骨が破壊されて歯が動揺する事になります。この場合は咬み合せの悪い歯だけがやられます。また全体的には、糖尿病になると歯槽膿漏の進行が早いのでこの病気の人は特に注意が必要です。ではどのようにしたら予防できるのでしょうか。次回は、その予防法についてお話する予定です。

部落紹介シリーズ ⑥

桐山部落紹介 (紹介者 川崎寅三氏)

県道松代岡野町線に添って峯方地区に逢平、会沢、清水、桐山の四部落ありますが、桐山は町役場より九キロ離れており、刈羽郡高柳町と中魚沼郡川西町の境界に接しています。

部落の戸数は十八戸、人口六十一名。峯方地区では一番小さな集落です。

ではこの桐山は何時頃から始まったかについて、旧家の皆さんに聞いても、どの方面から入っ

て来たのか、部落のおいたちに関する古文書は見当らず、昔からの言い伝えによると、今から六百余年前に小山家は現在の地に、寺崎家は部落の東下方の地名、沢ノ田に桑原家(旧川西桐山)は、北東約千米離れた通称あさ平に住み付いたと言われています。

その後四百年位前に小山家から寺崎、桑原の両家に同じところに住もうではないかと呼び掛けがあり、現在の地に集ったのだと聞いております。

以前学校は、峯方尋常高等小学校(現在清水校)桐山分教場があり、高等科は清水の本校に通学していました。昭和十五年の冬、通学途中全員が表層ナダレに押し流された事故がきっかけとなり、部落に独立校を建てようとの機運が高まり、昭和二十三年春三郡の境に組合立桐山小中学校が設立されました。設立当時桐山は、分校派と組合派に分かれた事から高柳、仙田の二村組合立で発足し、三十六年に高柳町、松代町、川西町の三町組合立となり、四十二年に川西町、桐山が松代町に編入した事から、高柳、松代の二町組合立となり、四十七年に高柳町後谷が、集団離村したために組合立は解消し、松代町立桐山小中

学校となりました。

このように幾度かの変遷をたどって来た学校も昨年春に児童数の減少から設立以来三十四年の歴史を閉じ清水校に合併しました。

昔と違い今は、冬期間も道路は除雪され交通の便は良くなりバスも桐山まで四往復通っており三名の児童は毎日バスで通学

しています。

県道は幅員がせまく、現在辺地改良工事で清水部落と高柳町栃ヶ原の両方から桐山に向って道路拡張工事が進められており、冬期ナダレの危険箇所には、毎年何基か防雪柵が設置されています。

昨年十一月部落の中央に集落開発センターが建てられ、今ま





仙田桐山十二神社



桐山十二神社

で学校を寄り処にしていた各種の行事も、センターで行われ、婦人会、老人会、消防団員も毎月利用し、また夏休みには、小中学生が勉強の場として活用しています。

昨年夏、桐山校は取り壊され、その跡地に部落で記念碑を建てる話も決まり、今秋建立の運びとなり現在準備を進めています。

今まで農休日は毎月一日と第三日曜日をこの春から第一と第三日曜日に変更し、朝センターで農休日お知らせの放送をしています。

専業農家だけのこの部落に入っても水田は、ほとんど見当らず他所から来た人は、田はどこにあるのだろうと思われるほど作場は離れています。田の半分

位は部落の下方から索道で二回も掛け、やっとハサ場まで稲を運ばなければならぬ所が何ヶ所もあった。近年県単農道、町単農道と、何本も整備され田まで車が入る所が多くなりました。

当地は山ふところは深く山は肥天で雪消えと共に至る処にフキノトウ、アズキ菜、ゼンマイ、ウド等の山菜が自生しており採る人は相当稼いでいます。

桐山でも昨年からインゲンの栽培を始め、反収は町一番の好成績でした。本年は栽培者もふえ頑張っておりませんが、価格面収量面共昨年に及ばないようです。今年の反省を来年もまた栽培しようと話し合っています。葉タバコも一戸が栽培しており好成績を上げています。

部落には同じ十二神社が二社あり毎年一回九月一日に両社で豊年祈願の風祭りを行っています。

昨年郷土史を調査に訪れた川西町史編さん室の金子幸作室長が神社内を見ている内に発見したのは、御神体の脇に祀られている三尊種子の梵字碑でした。

この梵字碑(板碑)は向社にあり、どちらも長さ、約五十センチ、幅約二十センチの自然岩(安山岩)に阿弥陀如来、千手観音(キリク)と聖観音(サ)勢至菩薩(サク)の三尊が刻ま

れ、その下に文和五年とあり右側にやや小さく二月、左に十三日と刻まれてありました。

この碑は武人の死者を祀ったものではないかと見られています。

文和五年は正平十一年(一三五六年)でありこの時代は、天皇がお二方おられた時で文和は北朝年号正平は南朝年号です。

(註南朝は一三四六年から一三七〇年で滅びた)南北朝の争乱期に松代郷と、川西郷にこの梵

字碑がある事は、このあたりの

たくあん

つけ方



これからは、たくあんのおいしい季節。昔から、たくあんは「母さんの味」と言われているとか……。おいしいたくあんを作りましょう。

○材料

大根―二〇kg(約五十本)、赤砂糖―kg、塩七〇〇g、こ

ぬか四升、色粉―大さじ一杯、

○作り方

大根を冷たい風が吹く十月下旬ころ、十日から二週間位

山奥でも両勢力が闘ったのではないかと室長は推論しています。標高三八〇米の桐山は山の上にあります。夏は渇水期には水不足の家庭が多く永年町の簡易水道を待ち望んでいました。三年前から峯方地区にも水道が入り桐山は当初の子定より一年早く只今施設工事が行なわれています。年々改善されているこの地で部落民一同希望を持って農作業に励んでいます。

干す。

場所、風通しがよく、雨の当たらない所を選ぶこと。

こぬか、砂糖、塩、色粉を、むらなくだんごをこねるよう

に約三十分もみながら混ぜる。これを一晩ねせて置いて、す

き間なく並べた大根に適当にかけてつけ込む。最初の十五

日間位は、出来るだけ重い石を置き、次の十日間位は軽く

し、また、十日ほど重い石を置いておく。塩加減は食べて

みて好みに合わせる。

長くたつても、すっぱくならないコツは、材料をよくこ

ぬかになじませること、そのこぬかを一晩ねかせて置くこ

とです。

秋の火災予防運動 始まる

10月26日～11月1日

この運動は、火災が起こりやすい時期を迎えるにあたり、国民一人ひとりの防火意識の高揚を図り、もって火災の発生を防止し、悲惨な焼死事故や貴重な財産の損失することを目的としています。

火災原因の大半は、ちょっとした不注意から起きています。「わが家からは火は出さない」をあいことばに、次の点に充分注意しましょう。

※火災予防は、日頃の安全管理が大切です。

※火気から離れる時は、その都度火を消す。

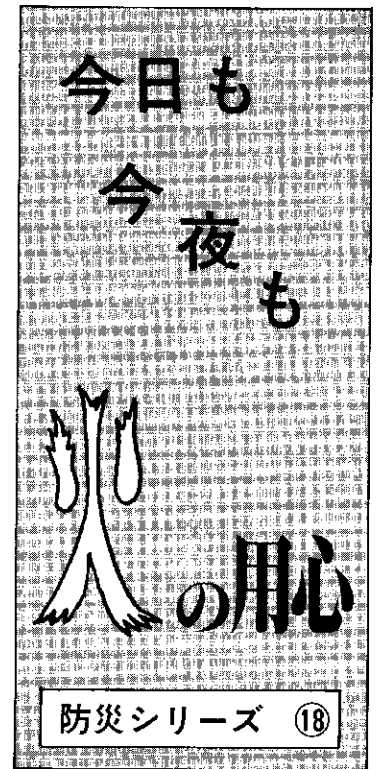
※火気のまわりは常に整理整頓し、可燃物は置かない。

※寝タバコはしない。

※マッチ、ライター等は、子供の手の届かない所に。

※ストーブ等火をつけたまま持ち運びや給油はしない。

※タコ足配線はしない。



松代町火災発生状況並びに救急車出動状況

資料：松代分遣所

年 種別	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	10年間 平均
(件) 火災	5	1	1	2	1	4	1	4	1	2	2.2
(回) 救急車	24	96	122	104	148	148	128	140	122	94	112.6

防火のはじまり

しめくくり

※ガス器具は、使用後器具栓だけでなく元栓もしめる。

※屋外でのごみ焼却、たき火、ぬか焼等は、消火の備えと監視視を励行し、特に風のある日は中止する。

「点検は

夜番の始まりは、97年前の大火の年(明治19年7月27日)から続いている。そのころ犬伏部落は建築ブームが続いていた。部落の大半が新築となった年(人家35戸、倉庫2戸全焼)だれからともなく夜警をやろうと言う事になり、四人一組の夜番ができた、毎年五月八日から十一月二十日まで毎夜続いている。昔は二十日間に一回位の割合で回ってきたが、今は十七日ほどで回ってくる。夜の10時になると「カップ」(火と水の関係からきている言葉か?ある



いは、部落中と言う意味なのか?定かでない。)の家の人(四人組の責任者)が「ヒョウシギ」を打ち始めると、当番の三人がいつともなく合流して、夜番が始まる。各家々に通ずる道路をくまなく歩く、15分位の所用時間である。夜番により大事にいたらなかったことが二、三回あったそうです。二回目の12時まで「カップ」の家で待機となり、稲作のこと、老人会のこと……よもやま話が始まる。

毎年7月27日は、火事祭で子供達が「空カン」を引きづりながら(夜10時)火の用心を呼び掛けつつづけている。昔は大人が夜明かしでやった。

「カップ」の人が「ヒョウシギ」の音が良から明日は天気がいいぞ!といったながら左右を見た。電燈が一つ二つと消えてゆく、カチン、カチンと櫓で作られた「ヒョウシギ」の音は暗闇に響いた……

夜番ご苦労さまです。いつまでも続けて下さい。

火事
救急車
119

私たちが健康を維持するための絶対条件の一つに運動があります。体力づくりとしてそれぞれの年齢に合わせながら行なえるので最適な運動法です。

運動は特定の部分のみ動かすのではなく、身体の各部分を動かすことが必要であり、頭、くび、肩、手足、背筋、腹筋、腰を前後左右に曲げたり、屈伸を汗ばむぐらいやりこれを毎日二、三分続ければ効果が有り、心臓を始めとしたからだの各機能の働きを活発にして老化の予防になるなど、多くの利点があります。

今回は、床の中でできる運動を紹介いたしますので是非実践して下さい。

〔町公民館〕

つけよう……体力

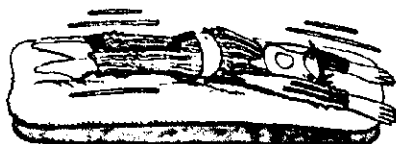
まもろう……健康

床の中でできる起きぬけ運動

はずみをつけて
前にまげよう



さあ全身を伸ばそう



交互に脚を
かかえよう



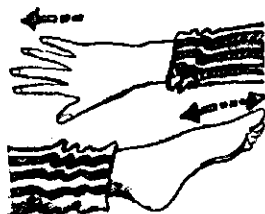
胸をはって
背を伸ばそう



膝を押そう



手首・足首・指の
関節を伸ばそう



上向きのまま
膝を交互に
倒そう



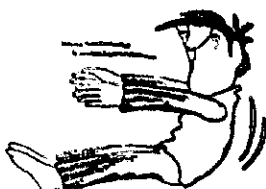
腰を
もちあげよう



肩と首をまわしたら、トン
トンたたいて起きあがろう



さあ
起きあがろう



「かあちゃんのス・ポーツ教室」

スポーツを通して、体力づくりの生活化を図ることに、体力づくりに関心を持つ。たせ体を動かすことの必要性を体得してもらうことを目的で教室を開備しています。

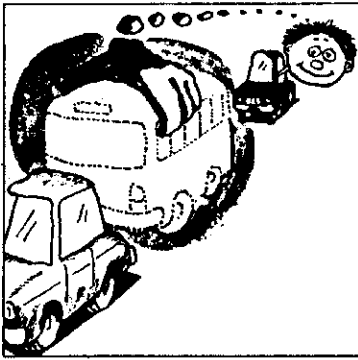


(孟地婦人會)

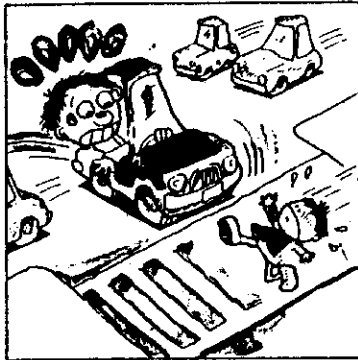
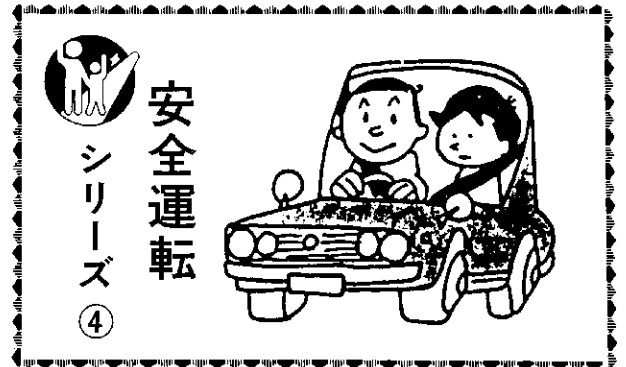


(儀明婦人会)

レクリエーションダンス

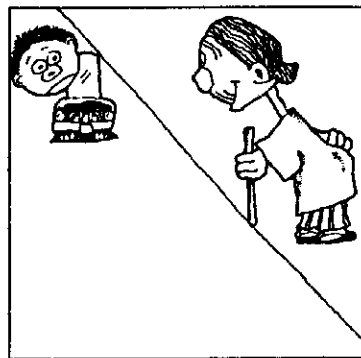


1 安全のペースを広めよう
車間距離をとれ！とは、よく言われることですが、スピードや交通状況にもよりますが、大體、大型バス一台が入れる車間を保つように心がけるべきです。



2 性急な右折は危険
右折するとき、対向車の流れのわずかな間隙を縫うようにして性急に右折すると、自転車や二輪車を見落すことが多く危険です。とくに、あまり勢いよく右折すると、交差点の横断歩道の手前で停止し切れず、横断歩行者をはねてしまうというケースがよくあります。右折にあたっては、対向車の流れが十分に途切れるのを待って、ゆとりをもって右折するようにしましょう。

よう。なお、安全のスペースと
いうのは、車間距離だけのこと
ではありません。側方の間隔も
そうですし、道路や交通の状況
に応じたスピード、また時間的
にゆとりをもつことなども「安
全のスペース」を形づくるもの
です。



3 車の方で避けてくれると
歩行者は思っている
ドライバーが思っているほど
歩行者はいつも車に注意して通
行しているとは限りません。と
くに老人や年配の婦人などはそ
うです。そうした歩行者の多く
は、車のほうで自分を避けて通
ってくれるだろうと思っている
ものです。ですから、そんな歩
行者が、運転者や車のほうを見
たからといって油断できません。
歩行者側の避譲を期待しないで、
あなたが積極的に避譲してやり
ましょう。

4 無理を感じたら
直ちにやめる勇気を
一旦、追越しを決意しても、
状況は刻々変化するものですが
ら、進路変更したとたん、新た
な危険が発見される場合もあり

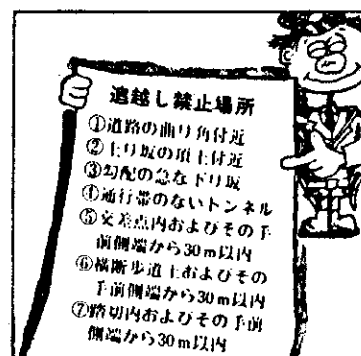


5 追越し禁止は標識のある
ところだけではない
追越し禁止の道路標識……実
際とは「追越しのための右側部
分はみだし通行禁止」の道路標
識や標識が多いのですが、これ
らの標識等がある場合は、右側
部分へはみ出している追越しが禁
止されているのはもちろんです
が、標識等がなくても、追越し
行為そのものが禁止されている
道路の部分があります。(下図
参照) これらの場合は、その道
路形状から考えて、追越しが危

郡内、交通事故発生状況

(57年交通年鑑より)

区分		発生件数			死者数			傷者数			自動車 台数
		57年	56年	増減率 (%)	57年	56年	増減率 (%)	57年	56年	増減率 (%)	
東 頸 城 郡	安塚町	6	6	0.0	1	1	-100.0	6	6	0.0	2,324
	浦川原村	14	17	-17.6	1	1	0.0	18	16	12.5	2,392
	松代町	16	10	60.0				16	12	33.3	2,057
	松之山町	6	8	-25.0				9	10	-10.0	1,789
	大島村	8	12	-33.3	2			7	12	-41.7	1,765
	牧村	5	5	0.0				5	6	-16.7	2,078
計		55	58	-5.2	3	2	50.0	61	62	-1.6	12,411

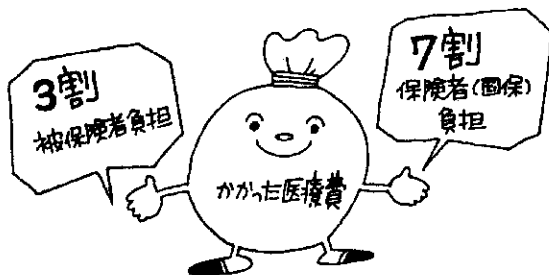


危険という場所なので、
これらの部分での追越しは絶対
禁物です。

10月は国保強調月間です

◎上手な医者のかかりかた

国保の加入者が、病気やケガで医師にかかる時、たとえば一万円かかった医療費でも、一部負担金として払うのは、三千円で済みます。あと七千円は、みなさんが納められる保険税と、国等からの補助金によってまかなわれます。



しかし医療費の伸びは、毎年目をみはるものがあり、このままうなぎのぼりに医療費がふえていくと保険税を毎年値上げしなければならなくなります。必要などきに、良い医療を受けるためにも、はしご受診をしたり、クスリねだりをするなど医者泣

かせをして、大切な医療費をムダに使うことのないよう、みんなて気をつけましょう。

◎信頼関係が大切

病気を早く治すには、医師を信頼し、指示をよく守ることが大切です。また、急病などの場合はともかく、深夜や休日などの受診はできるだけ避け、医師をいたわる気持ちも忘れないようにしましょう。

◎国保と交通事故

交通事故や傷害事件など、第三者(加害者)から受けた傷病の治療費は、原則として加害者が負担すべきものですが、その弁償が不十分であったり、遅れたりする場合、国保で治療が受けられます。この場合、次の条件や手続きがあります。

- ①加害者から現実に治療費を受けとつていけば、国保は使えません。
- ②国保で治療を受けるときには必ず事前に国保へ届け出てください。
- ③届出により国保で治療が受けられるようになると、国保から医療機関へ治療費の七割を支払うこととなります。そして、この七割は後日、国保が被害者に

かわって加害者に請求することになります。

◎健康家庭に報償

健康は、私たちが、毎日の生活をつづけていくうえで、かけがえない宝です。いつも自分の健康状態を正しく把握し、明るい生活を送ることを心がけましょう。

今年もつぎの方々が国保の医療無給付世帯に選ばれました。近く記念品を贈呈いたし皆様の健康をたたえます。

(本年度の該当者)

- ◇五年以上医療の給付を受けなかった世帯
 - 佐藤幸三 室野向田
- ◇三年以上医療の給付を受けなかった世帯
 - 柳 鏗爾 松代 代みせ
 - 関谷倉蔵 松代 辰巳屋
 - 関谷吉蔵 千年 孫吉
 - 寺崎秀夫 桐山 伴ねん
 - 山岸重雄 蒲生 権兵田
 - 小堺 巴 室野 安堂
- ◇一年以上医療の給付を受けなかった世帯
 - 十五世帯

◎報償要件

- 一、五年以上 医療費を受けなかった世帯
- 二、三年以上 医療費を受けなかった世帯
- 三、一年以上 医療費を受けなかった世帯

この調べは毎年三月三十一日現在で調査いたします。

金がない者で医療の給付を受けたことがない国保世帯に対して予算の範囲内において報償します。

◎成人病に用心

成人病は慢性病の一種で、中年を過ぎると急増し、職場では働きざかり、家庭では一家の柱ともいべき人を襲うので、こわい病気です。

その代表的なものは、脳卒中、がん、心臓病、肝臓病もふえてきました。

戸籍の窓口

九月受付分

幸せ多い人生を(結婚)



高橋保雄・樋口美枝子

(松代・善宗塚住宅)

げんきなよい子に(誕生)



小堺直人 父隆幸・母広美

(長男・蓮平・五郎作)

山岸明人 父吉弘・母康江

(長男・木和田原・吉田屋)

関谷則和 父則雄・母恵子

(長男・松代・善屋)

櫻澤一 父正一・母京子

(長男・松代・田中)

市川優 父健一・母和子

(二男・松代・伝年)

関谷朋真 父宗一・母由美子

(三男・松代・田端屋)

小堺綾子 父悦夫・母恭子

(二女・儀明・東)

ご冥福を祈ります(死亡)

相澤ミナ 42歳松代下の島住宅

柳喜一郎 74歳・千年・清吉

高橋トリ 90歳 松代治郎兵衛

内山久松 83歳 木和田原久院

文芸



しづみ句会

一人ずつ吊橋わたる稲負い女
隣り合う作見くらべて稲を刈る

公明

神輿去り静かきもどる村はずれ
稲刈るやそぼ降る雨を憎みつ

悠歩

秋祭り日照り日なたで薙酒
秋茄子や母に見せたき一周忌

紅茶

倉萩の花さかりなるダム通る
蟋蟀も観音経か茶水逝く

炳史

蟋蟀の鳴く道稲架場通り過ぐ
電柱も稲架場支柱に組み込ま

静風

秋深し邯鄲聞きて深眠り
栗飯を山ほど盛りて月まつる

常仙

しろがねの髪美しく敬老日
笠紐に涼しく秋の立ちにけり

一元

手に取りて美人の顔や秋団扇
近江路の旅琵琶湖畔秋の月

嘉橘

秋分や帯の間の乗車券

稔る稲しあわせそうに投げ上げ

きく代

句の友の逝きしみ空の鰯雲

刈り入れのつなぎ作りし母八十

路

長雨で役目終わりし濡れ案山子

稲刈りて実のすこやかを喜べり

喜沙

秋風が吹くたび毎に身に泌みる

孫連れて稲刈人夫にあついお茶

美根

機械刈はじめて稲刈帖持たず

挨拶は稲の作柄聞きてより

淡水

豊作と迄はゆかぬと答えけり

秋雨や茶水静かに逝きしという

枯水

泥臭き女房となり稲刈女

コスモスの乱れしままに山の駅

六花

蒲生句会

露深し仕掛けた泥鰌五六匹

萩芒乱れ野道を狭うしぬ

泥水

首振りて朝露落とすハツ頭

雀追う案山子に雀十羽ほど

嘉橘

咲き乱るみぞそば父の忌は近し

稲の束積まれ山田は昏れ急ぐ

鐵堂

山小屋に人声のして秋の暮

野良着のまま妻が焼きたす秋刀

魚かな

稲埃り眼鏡拭きつつ客迎う

草の実の野良着濯ぎて日暮れけ

蜘蛛の巣を白くたるます朝の露

足跡に小魚遊ぶ刈田かな

紫煙

秋茄子や紫濃くて小粒かな

コスモスに蝶がとまれる日和哉

折人

雨やみて咲きしずもれり鳳仙花

蟋蟀の啼く音に街灯青く冴え

ふさ女

山蔭の迫る稲積む櫓曳けり

雨滴まだ葉末に残る小望月

耕山

短歌童欲しき里

下山埋れ木

螢よぶ頃も聞き得ず暇道足どり

重く家路辿るも

グミの木の朱実漁りし痕もなし

夕日の丘に虫すだきおり

色褪せし紫陽花の花傾きて日盛

り暑く蟬時雨きく

人生の旅路疲れと思ほゆる顔の

居並ぶ老検診日

血圧はかなり高しと告げられて

佗しく笑う老人もあり

園芸一口メモ

Ⅱ 松代園芸愛好会 Ⅱ

秋うえ球根の

ポイント

秋うえの球根は、春うえの球根に比べ非常に種類、品種の数が多く、それだけに色々な性質のものがあり、初めて作る時はその性質の説明をよく読み、失敗をしないようにしましょう。球根を庭に植える時は図のような深さに植えます。水はけと日当りのよい所が適しますが、水はけがよければ半日ぐらいしか日の当たらない所でも花は咲きます。

鉢植えの場合は、腐葉土を混ぜた水はけのよい土を用い、球根の上に三〜四センチ土がかかる深さに植えます。芽が鉢の上に出たならば追肥をし鉢の上部まで土を入れます。鉢植えにした時は、芽が出てなくても根は動いているので、乾かさないうに水やりには気をつけます。鉢土を乾燥させるとチューリップなどは花が咲かなくなります。肥料は鉢植えの場合は薄い液肥を月に二回位施します。庭植の時は、球根を植える際に化成肥料を土とよく混ぜ直接根

に肥料が当たらないように施します。追肥は春早く行い、百合のように生育期間の長いものは二、三回追肥します。

秋植球根のいろいろと 植付け深さ一覽

